

下
新編の巻

ホ 2
618
3



門 未加2
618
卷 3 止

手 康 杖 下

丁 江 乙 ふ け 中 甲
十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三

あ 十九 せ 二十八 ち 三十八 け 四十八 ね 五十八 へ 六十八 へ 七十八 へ 八十八 へ 九十八



あ 十九 せ 二十八 ち 三十八 け 四十八 ね 五十八 へ 六十八 へ 七十八 へ 八十八 へ 九十八

手



太道加途衛 下

や乃効

二云

④ やほ 右夜幣 八百 ① やへ 右夜幣 八重 ②

やを 紀八五を ③ やう 有やう又やうなるやう様のまゝ物短虫まゝし

三云

① やいば 右燦 双いさか ② やはし 万夜波 和

③ やばの 物語書に多し 葉を 争ふ此まゝにしるゝん ④ やはば 和夜波頭 箭受弦處に 箆

⑤ やばら 父系を引り ⑥ やとん 和夜波頭 箭受弦處に 箆

手

や

物

下

Faint bleed-through text and a red seal impression from the reverse side of the page.

備を河の續後ニ
博士不雇須と見え

④ やちり

流弱を河の今そろく
兼とらふささくといふ

① カ やのぢ 丈八櫛

葉八接櫛をかきさすといふは非
すく多すの八といへるは流のそと八尋

殿ハ尋尋又ハ子代といふ
流のそと八接櫛

③ やよひ

古今 流生 ね

をくく三月又福種をあへ
初れをかきしといふなり

② ツ やそぢ

万八十を
河の

⑦ ツ や河を

万八歩を
河の

解ニ峯のまわりの
流りまといふ

○ や河め

和也如女
駿河

矢集 ⑧ やらひ

やららんやらふ 古夜良
やへるやよ

逐

⑤

やむき

和夜ヲ予
無妻と

鰻

○ やむめ 和夜
を

無史と

寡婦 ⑨

やらの

八日

林やらのひを攀て注
八伴、田く世を逆て也字云

又次古方今集よかぬのひやらのひを攀て注
八伴、田く世を逆て也字云
まはすといふとらふといふとれとそれたよも悉くといふなり
も古今集を初接撰集拾遺集などの河をくといふなり
はもあつた日とよも流とていふなり 程のを流といふなり
もあつたといふ万の百日行又古景行とて河此河伴と火鏡先
人の日本武皇の續あまの用途波許々能用比途波吃表
加表といふも流とていふなり 河の流とていふなり 九夜十日とて
つらつらといふなり 又あつた流といふなり といふなり けせぬ
といふなり といふなり といふなり といふなり といふなり
といふなり といふなり といふなり といふなり といふなり

流楊 ⑩

① まい 和夜万
比

病

⑥

やらふ

和也支布
大和

楊生

② やいり

和也志
利

族

家作やしりといふは屋敷の
といふなり といふなり

○

やしを

多椰子を
河の

注椰子蓋以毒投蓋中則酒急沸
出今人塗蓋中甚多椰子用と見え

○ やしほ 拾万八塩を引り
手しほを引り

○ やらぬ 万夜因 安寝
草之

に云

① やらぶま 大後 燗 藤之
いきまをり

○ やいけい 紀野伊 奴
徒姑

○ やいばた 和也 歟
八七 膠 杖之火田之今畑
大田を今畑の之

○ やはららの 僅也 波
良加 和 ○ やはらだ 万柔膚を
引り

○ やほあひ 源八百會の
義之 ④ やまもかん 風俗奇 跡
夜半止女 度

○ やかこち 和也 形尾 矢ハ源
鷹之りのの義之 ⑤ やはがひ 和也 継を
延之

⑥ やなぐひ 和也 奈
久比 ⑦ 履 ⑧ やく

漸 やいを義 使之れをり
○ やうやく 古今 河をよこ
月一をハ

○ やうなき 源 無益の
着使之 ⑨ やくそ

⑩ やまたけ 古夜麻 造本者之
多夏 ともり

○ やまじい 古山 祇を引り
山津持之 ⑪ やまじい

○ やまじい 万山 畏 家治之
義之

○ やまぢさ 万山 流依 解之を系被蒿之似
たれにいふかきんたり

○ やまあゐ 万山 益を
引り

○ やまぢへ 和也 未多倍
和泉 山直 ⑫ やけいし 和

かひの約
ひさし

神奈奈
也々々々

了れ喜使の
精り

え 台記申居喜酒之
八桑枝立葉と見え

○ やまじい 古山 祇を引り
山津持之

○ やまじい 万山 畏 家治之
義之

○ やまぢさ 万山 流依 解之を系被蒿之似
たれにいふかきんたり

○ やまあゐ 万山 益を
引り

○ やまぢへ 和也 未多倍
和泉 山直 ⑫ やけいし 和

也今比止
因防

益必

ア

やあけせ

盛

矢鬪

和鬪草を
久佐阿波世

見

乙

やしかなふ

やしなふんやしかひ
やしかへるまふ

字也之
奈布

養

○ やしはふ

和夜之波古
曾孫之子

玄孫

久

やひらひ

後指万緋細又程豫を
河

又云

① やいむらき

和熟艾を河川燒蕪草
よしのさかすなり

ハ

やはら

とくち

和夜波良
久佐

黄耆

ホ

やはのゆき

拾万八百
日行を

河

○

やはよろび

中は後八百萬を
河

○

やはた

でを

枕万八穂蓼子
河

○

やはよき

古
枕志

夜保尔余

① やへむら

古今万八重六倉
弥重律の義

○

やへたみ

枕万八重

⑩

やないばふ

禁
楊管

和指津極
也奈以夏とん

① やまかひ

和山乃加比
山間

峽

○

やまのいも

夜万
以毛

山芋

○

やまあふ

字山河不支
草

石英

○ やまほり

字山保々支

東花

○

やまぶ

和也未不々支

棟棠

和欵を注以棟棠はこれ非は棟棠はこれ
もこのひも保くも考へる流がれをいふ

たふん是と欵を八本草綱目之濕草の類をくまら嘆息とありは三體活
僧房遠若欵を華注本草欵を華注和雍州南山及華州一十二月
末三華一と見今いふはこれたふんは棟棠八万山吹文山松と見
和をよむる華盛なるも流をこれらにさしをいふはこれの成形
異流をいふはこれなり
○ やまのいも
紀山頂を河川
山末の義

六三

ワ やそよのりを續八十伴雄 ○ やそよぢび

ウ 紀八十氏人 ○ やしきのあや古八弦琴を

エ の義 ○ やろへのあけ 和夜乃倍乃 屋遊 ○ や

オ の義 よれかけぢ 和夜未乃か分知 磯道 ○ やまひくらぎ

カ 和夜未は々良支 巴戟天 ○ やふぶのしら支孫支

キ の義 草 ○ やふぶのしら支孫支

七三

ツ やしきのほがき 支 万八巻くまをよれあいの

ウ やうばいぢ 盛 貞丈翁法筆揚 ○ やまの

エ ちまひ 源日本魂そ源ハ ○ やせきらぼ

オ 系 支 瘦癡 そ 癡ハ 志 つる これ れ

八三

○ やまねろし乃のせ 古今山卸風

ま乃初

二三

イ まい 和麻伊 烏牛 ○ ま 古麻弊

下

前 ツ ままじ 万麻豆 先 ㊦ ままひ 古麻肥

幣 ○ ままひ まげん ままひ 和麻比 舞

三三

㊦ ままはり ま廻を何ウ様、
目趨の義と云 ㊧ ままへら 紀禪を
何ウ

前裳の ㊩ ままゆふ ままげん ままひ 丈
ままへら 纏 ○ まま

㊪ ままひ ままへん ままひ 古麻刀
比 惑 ○ ままもろ 和
糸

麻刀為 圓居 ○ ままほ 万回き 目をの
糸 ㊫ まま

㊬ まま 下麻表 日、白 常申をの
糸 ㊭ ままがひ 糸
ウ

㊮ まま 万麻我比 紛 ○ ままから 万志櫛
糸 ㊯ まま 糸
ウ

㊺ まま ままへん ままひ 續速流
糸 ㊻ まま 糸
ウ

活と、和万与 紕 ○ ままよわ 和万与和
貝 石を縲

㊼ まま 万志縲を何ウ ㊽ まま 万志縲を
糸 ㊾ まま 糸
ウ

貪釣を麻治知、何ハ ㊿ まま 万志縲を
糸 ㊽ まま 糸
ウ

㊾ まま 万麻字糸 儲、役 ○ まま 何ウ
糸

天 詣 ○ まま 万麻字勢 日、白 ○ まま

㊿ まま 和万字多 陸奥 望多 ㊿ まま 糸
ウ

糸 ㊿ まま 和未布之 魚ノ具 駮 ㊿ まま 糸
ウ

字万安比 顔 ㊿ まま 後撰 座を延き
糸 ㊿ まま 糸
ウ

手

六

キ まさきえ 紀眩を測り目 〇 まさきえ 金

時繪の 〇 まゆふ 丈木綿の ② まゆふ

ふ 万万自面 文

口云

ト まどばひ 万延匍匐を 惑を延 ④ まもち

どほ菅 待き ⑤ まちぢも 万麻午甚 解こ

蔣くと ⑥ かのかのふ 小かたきん ちのちひ 字万加 宗布

擬、賄 〇 ちののりる 兼 羅ウの 鴨街ん ⑦ まちゆ

ふ 儀式帳 丈麻木綿 ⑧ まりろふ ちのろん ちのちひ ちのちん ちのちひ

万麻如 倍 隨順 〇 まりばふ 古今 纏を測り又 縁もむかし

〇 まじのひ 万向使 向使ハ 假字あそ 〇 まりこの

ひ 伊待向の 〇 まりよひ 盛待 盲人 待育を ちの八月十

四角をいふのをせ 乃 俗流といふ ⑨ まなのひ 万麻奈 眼向の 〇

まなのし 字万奈 志利 毗 〇 まなふみ 和万奈 古為

眼皮 〇 まなぢぢら 万愛子地 丈砂路をちの 〇

まのなり 和未奈 ⑩ まらら 今 希人を 丈使

いなる ⑪ まらとく 及音目の ⑫ まらば 万

間細 目細 香 〇 まらばひ 古麻县波 婿

⑦ まのふらふら 丈 山伏をいふも 志字 いふふらふら 未考

た 多 礎を削り 裁縫をいふ 二 まゆびふ 和万由須美 黛 画眉墨

⑩ まめじり 和未女 大豆 注 旬三歳以上十歳以下小 豆本 児食之免壅而先云り

⑪ まめじ 延 麻自 青 件里 ○ まめじ まめし なのひ なはん

○ まめし なのひ 紀 厭を削り ○ まめじ しろく 字万

○ まめじ はふ 紀 交又参を まめし ならひ又 河

○ まめし なのひ 万 麻比幣をいふ まめし なのひ あのかひ

⑬ まめし ならひ 古 麻毛 守を延 良比 いろ ス まめし ならひ 万

麻周 文文 羅

み

⑭ まめし なのひ 和未 路 奈倍 全 ト まめし なのひ

和未 万 司 務 ⑮ まめし なのひ 和麻 多以 止古 之後

⑯ まめし ならひ 万 枕着 ○ まめし

らゆふ 丈 枕 係 章 枕 係 の ぬ ○ まめし なのひ

⑰ まめし なのひ 紀 磨 た 兼 考 まめし なのひ

⑱ まめし なのひ 源 紛 を 活 ヒ まめし なのひ

和未 比 里 久倍 苦参

六

⑤ まひのかしら 和 万比乃加 之良

雲冠

⑥ まひ

らたけを 万丈丈を 河守

七云

⑦ まをれまひいさ 丈 高き乃新 糸の養

⑧ まひほ乃 まひほ乃

す 増穂芒又高穂穂芒よりこれも高穂 貞丈翁のたし穂芳の芒といわれしらく

十云

○ まはばし乃くへのさぬ 和 万部波之乃字 傍乃俊奴

縫掖

け乃劔

二云

① けふ 右 祢布 今日 ② けひ 右 糸比 筒飯

三云

③ けはし 字 介波 志 岫、嶮 ○ けはひ 源 糸比

④ けぢめ 伊 結目又差別を河守 東磨 分目といふり 糸異路目といわれ

⑤ けひふ 和 介 糸比 梳 ○ けひふ万

⑥ けふあ 字 介 史 利 煙 ⑦ けさ

⑧ けし 糸 恠敷を音 伊 俊といふり

手 け

九

四三

① けぢら葉の葉葉 ② けぢら葉の葉葉 ③ けぢら葉の葉葉

穢穢を延延 ④ けけとと ⑤ けけびびのの ⑥ けけららのの

やや盛盛孝孝養養のの ⑦ けけびびのの ⑧ けけららのの

ス けけららひひ ⑨ けけららひひ ⑩ けけららひひ

五三

⑪ けけららひひ ⑫ けけららひひ ⑬ けけららひひ

カ けけららひひ ⑭ けけららひひ ⑮ けけららひひ

ふ乃部

二三

① ふふいいぶぶ ② ふふいいぶぶ ③ ふふいいぶぶ

はは和和 ④ ふふいいぶぶ ⑤ ふふいいぶぶ

紀府紀府 ⑥ ふふいいぶぶ ⑦ ふふいいぶぶ

⑧ ふふいいぶぶ ⑨ ふふいいぶぶ ⑩ ふふいいぶぶ

三三

⑪ ふふいいぶぶ ⑫ ふふいいぶぶ ⑬ ふふいいぶぶ

公草 ⑭ ふふいいぶぶ ⑮ ふふいいぶぶ

下

ふらんふふ 和布端比 竹器 節 ○ ふるふ 活上之旧布 溜

部 競 文 ふるふ 和布多為 長門 二處 ㊦ ふらふ

紀恨又念を ㊧ ふまへ 支踏を延 ㊨ ふらふ

和布之本 踏 ○ ふらふ 和布志 能也 鳳至 ㊩

ふさひ 波受え 祥

巴云

㊪ ふらふえ 古今振映の ㊫ ふらふ 万振麻

振舞又紀之 進止を列す ㊬ ふらのけふ 和布加夏三 草々 石鏡 蒨

㊭ ふらふむ 紀憤を列す ㊮ ふらふへ 万布良 婆用

解之觸を延まるといふは 振返のふらふと云ふ ㊯ ふらふらふ 和布之呂不 鳥木

○ ふらふたい 今 艶艶をふらふたいと列す今綿をて 他れをふらふたいと列す今糸の熟をん

㊰ ふらふめふ 万布敷賣流 ㊱ 合 ㊲ ふでけの 職人

合 筆柄 今筆の袖 ㊳ ふまがは 和布波 鞆

㊴ ふらふけ 和布之助少 捕魚々々 罾

五云

㊵ ふらふらふ 和布不知古路毛 喪服之 ㊶ 懐 ○ ふらふばのま

和布知波加万 草々 蘭 ㊷ ふらふらふ 万布奈夜 儀

○ ふらふらふ 和布奈夜 毛非 若紅 ○ ふらふらふ

手

十一

下

ら 又 萱 環 を 列す ④ ふがうり 和布之聲 馬腹下声

鷺 ⑤ ふさい 又 噴を列す 吹 おほの響

ふさ 字不跡 志苗 躑

ふさ

⑥ ふほくでがさ 和布保々天 久佐 ぶ原草 ⑦ ふ

川はふろく 史 仏法僧と見え鳥之紀國 ⑧ ふらぬる

ふらぬる 後拾 脚指の床 をいす

ふ乃翁

二

① ふい 紀 冷を列す 西之俗 ② ふは 字 是 略 漢

③ ふお 史 藏 玉 集 鷹 を おおむ と見え 鷹 の 雛子のまを本之緒をより本居ると見え ④ ふ

え 紀 古 豊 ⑤ ふえ 字 古 衣 多 利 肉 多 肥

⑥ ふぐ 古 根 許 士 尔 洋 士 而 掘 ⑦ ふぶ 万 許 志 聲

⑧ ふひ 史 げん 延 乞 比 乞 ⑨ ふひ 史 あり

古 古 斐 戀 ⑩ ふひ 和 古 比 足 病 之 鐘 ⑪ ふひ

字 古 比 鯉 ⑫ ふひ 字 古 比 鵜

手 ぶ

十二

三三

ハ 六はし 字已波 強 ④ 六ほり 万許係米

○ 六ほり 俚已係 郡 ○ 六ほね 和古係糸 里 粟菜之

温松 ① 六とら 和古刀 葦柱 ○ 六とひ 和

古度比 特牛 ② 六がひ 紀養蚕を 列り

③ 六よひ 紀鹿豫 今夜 ⑤ 六たふ 和古豆乃 角中骨之 鯢

○ 六ひけ 後撰小着の ⑥ 六ひの 和古豆乃 魚之

鮫魚 ○ 六ひき 万本積史之始 ⑦ 六ひを 和古豆乃 魚之

○ 六ひむ 海徳を平記 ⑧ 六らへ 英 凝塩の略河 多ねし

⑨ 六ふけ 兼 蕘の善 ⑩ 六うけ 和古家の 善

○ 六うし 兼 厚志の 善 ⑪ 六うし 兼 溝師の 善

○ 六うじ 兼 為困を善 ⑫ 六乃え 和古乃江 武藏 狗

江 ⑬ 六うは 和古文波 ⑭ 六まひ 彌 猴 桃

多 概を河上在椽之端本之 ⑮ 六ふひ 和古豆乃 白

今 廣概といひ ⑯ 六ふひ 和古豆乃 白

飲 ⑰ 六ふひ 和古之里 ⑱ 六ふひ 和古豆乃 刀 劔

をとり万之劔 ⑲ 六ふひ 和古比千 泥 ⑳ 六

をとり万之劔 ⑳ 六ふひ 和古比千 泥 ㉑ 六

すゑ 和古須美 梢 手 十一

比ふ

① 万許伊布志 万許伊 展卧 ○ 和 比ふ

古以之居いせ 漕代 ② 續古今比ふ 比ふ 比ふ 比ふ

③ 和己保呂波 情惘 ○ 字己保 比ふ

虫く ④ 和古八伊比 強飯 ⑤ 乃古刀 比ふ

乃古保志松 ⑥ 乃古刀 比ふ

⑦ 乃古保 比ふ

⑧ 乃古保 比ふ

⑨ 乃古保 比ふ

業の 乃古保 比ふ

⑩ 乃古保 比ふ

⑪ 乃古保 比ふ

⑫ 乃古保 比ふ

⑬ 乃古保 比ふ

⑭ 乃古保 比ふ

⑮ 乃古保 比ふ

⑯ 乃古保 比ふ

⑰ 乃古保 比ふ

又云

① さいまろび 万反側又展 将を引り

② さいほめかひ 清 さいほめくく白し葉を 懐くくおかりと見え

③ さいはらへく 万言依敬 枕久

④ さいはらへく 和古未夏 久里 獨樂

⑤ さいはらへく 孩拾 却石て圍基の 平ておけり

⑥ さいはらへく 竟映 情を延くくの理りやんえんし 映はてんくくおかりと見え

⑦ さいはらへく 万情初未解、音々妻とてひ定め ちをいさしとんや

⑧ さいはらへく 和古之波 和良 龍帯 ⑨ さいはらへく 紀乞願文、 廣費を引り

⑩ さいはらへく 万古母親夏 考、隱水く といなり

⑪ さいはらへく 心かげら 又 菱帯を引り

又云

⑫ さいはらへく 和古君毛夏 肥懐 ⑬ さいはらへく

⑭ さいはらへく 古許表呂 凝ゆ、思く 又凝、をり

⑮ さいはらへく 良加 信利 將筋 ⑯ さいはらへく 正後涼殿 将申後未 引例

⑰ さいはらへく 万古乃互加之波 兜平栢 ⑱ さいはらへく

⑲ さいはらへく 紀有意を引り 葉、心知く ちの約り見え

⑳ さいはらへく 和古之幽未止此 失意 ㉑ さいはらへく 久輪を引り 和之較を

車乃古之波と云ふハ
しと押のまからし

⑤ 古之のよほひ 支
声のほ顔
をいし

七云

○ 古ふしほじのみ 和古不之波之
加夷 辛夷

えの初 江得衣愛枝柄柱
これららの振字云

二云

① えい 櫻青く扇冠和
俗に燕尾と云ふ
② えふ 采縁の青く

③ えや 足跡の青く
十干をさし
④ えち 和衣知
近江 志智

⑤ えり 正領俗語物云ハ
衣とひと云ふ
○ えり 撰 田云云
おせり

⑥ えご 和衣古
平云云
肢 ○ えご 古也院
本云 枝、條

○ えご 和衣古
加夷 英太 ⑦ えそ 暇夷
林云
愛洲

侍の粘紙
かんとさし
⑧ えか 紀胞衣を
河云 ⑨ え乃 和衣乃
薩摩

穎娃 ⑩ えひ 紀長子を河云
兄子の義成云 ⑪ えひ 和衣比

編平魚 鯨 ○ えひ 和衣比
似鱧而青長鼻魚也 鱒 ○

えび 和衣比
用海光 鰕 ○ えひ 和衣比 裏衣香

三云

⑫ えはく 昔方と昔を
えの振字を用ゆ ⑬ えり 續古縁云
一六物

⑭ えち 字衣手
地 阿伯 ⑮ えご 和衣比

手

十六

役を 役發す喜詞の六非く祭儀の事 ① えはり えはりの約えなり

衣更利 ② えなみ 和江衣更 ③ え 屋具

らひ ④ えらち 万撰又擇を河りえらちいなり

盛幼稚の ⑤ えらち らひの約りえ倍よるえらちの准

和衣久ふ ⑥ えらち 字衣乃木 ⑦ えらち 伊勢

やゝ 和衣夜 ⑧ えらち 和衣夜更 ⑨ えらち 和衣夜更

⑩ えらち 紀堂源治 ⑪ えらち 和衣夜更 ⑫ えらち 和衣夜更

養蠶 蠶簿 ⑬ えらち 保 ⑭ えらち 箭室より上おせる蠶簿

⑮ えらち 平 ⑯ えらち よりりの繁と蠶簿の可愛

⑰ えらち 我の養ふやとより常服のたを月切たる後逆頬服えたる能は布服

⑱ えらち 逆頬後ハ小葛能がしした平紀平胡線の能えらち可愛の事

⑲ えらち ま衣物の

⑳ えらち 義

㉑ えらち カ

㉒ えらち 在るあれ

㉓ えらち 加る

㉔ えらち 和衣比須糸

㉕ えらち 和衣比須糸

㉖ えらち 和衣比須糸

㉗ えらち 和衣比須糸

㉘ えらち 和衣比須糸

手

加夏 紫葛 ○ えびはくさ 字衣比須之依 山さけり 文

薬 ○ えびはくさ 和衣比須之依 至明目之 决明 ○ え

びすくち 字衣比須 之依 杖

六云

⑤ えびはくさのみ 和衣比加夏 良乃更 蒲萄 ○ えび

はくすり 和衣比須之依 ぬみくさ 芍薬

て乃約

ニ云

① てへ 古今 拾 約 ② てふ 東 木屑の 義く ③ てふ 詞 蝶の 義く ④ てふ 古今 約 ⑤ てふ 後撰 義く ⑥ てふ 保々 天布 義く ⑦ てふ 糸 條の 義く ⑧ てふ 糸 條の 義く

⑨ てふ 詞 蝶の 義く ⑩ てふ 保々 天布 義く ○

でふ 多 帖の 義く

でふ 多 帖の 義く

三云

① てへり 禁者 列り 又て へり 義く ② てへり 禁者 列り 又て へり 義く

③ てへり 禁者 列り 又て へり 義く ④ てへり 禁者 列り 又て へり 義く

⑤ てへり 禁者 列り 又て へり 義く ⑥ てへり 禁者 列り 又て へり 義く

⑦ てへり 禁者 列り 又て へり 義く ⑧ てへり 禁者 列り 又て へり 義く

手

てうし 多 桃子の 正 ① ② てたひ 盛 平家 手負

に云

③ てひがら 万豆夏可良 手自文 身自り ④ てはぐり 万

氏夏 久利 ⑤ 手作 ⑥ てかろひ 源 手習 習ハ ⑦

てらげん 字天良波 須 ⑧ ⑨ てうさん 多 朝参の

⑩ てうし 物活虫之多く居ゆ 洞而の氣

又云

⑪ ていたらく 多 為躰を 列リ ⑫ てらげん 和天

夏之伎 けしき 啄木鳥

あ乃初 二云

① あい 業 愛のま ② あは 右阿波 粟 ③ あ

は 万阿波 清 材之清くお ④ あは 和 阿ハ 安房

阿波加れ おかし ⑤ あは 和 安波 花弾 阿祥 ⑥ あへ 和

替 響を久波 倍と云 ⑦ あへ 万安倍 敢 ⑧ あぢ

右阿治 味 ⑨ あぢ 万 安遅 急之鶴を 鳥之 列リ ⑩ 何ぢ

字阿知 魚之 ⑪ あを 右 阿表 多之 青 ⑫ あを

手 あ

清葉之藎の類しつり和代の
○ 阿を 和阿字 若校 阿

桑 ④ 阿わ 右阿和 沫、泡 ⑤ 阿る 和河為 深草

藍 ⑥ 阿え 紀阿敷 背 今あやうと ⑦ 阿ひ 和

阿比 造化をえ 楸撃 ○ 阿ひ あけんあふ 古阿比 逢、

會 ○ 阿ひ 和川合をか波 合 ○ 阿ひ 和相可 を阿布

かゝ 相

三三

① 阿い 和河伊左 秋田 ○ 阿いた 和安伊多 英比

英多 ② 阿はれ 紀河波れ 可憐、可憐 ○

あはは 信安波世 合 ○ あはら 和河波良 亭

○ 阿はら 字河波良 武室 榭 ○ 阿はひ 桑間の延

交を 注せり ○ 阿はめ 源あはえ ③ 阿はき

源流の略 注せり ○ 阿はき 古阿波伎 榎 ○ 阿は

び 和河波比 ④ 阿はふ 和河波 粟田 ○ 阿

はら 和河波知 ⑤ 阿はら 万安信 敢 ○

あへぬ 万安信 不堪 ○ 阿へざ 和河倍 喘息

○ 阿へあ 桑あはれまげれの約へん ⑥ 阿ぢの 和阿

か 安さ ⑦ 阿る 風倍奇 主 ⑧ 阿を

少 和 阿字 隘 礎 ○ 和 阿字 奈 ○ 和 阿字 奈 蔓

菁 ○ 公 白馬を 阿字 紀 万と河字 ○ 和 阿字 奈 和

阿字 奈 三河 碧海 □ 字 阿和 惶急、周

章 ○ 万 沫緒 伊 カ 万 安 贖 布

○ 和 安加布 信流 赤生 女 紀 直を河 紀直を河

費直 ○ 和 阿黨 價 紫 枿を 解 駈く この約を ○

あが山 あ 阿 紀 播 奴 與 ○ 和 阿 曾 布 遊

源 紫をひききぬきあがけ 狭 と 白をききしととと ワ あそふ 和 阿 曾 布 遊

○ 盛 預 材 當 附 へ ○ 和 阿 曾 布 遊

加 紀のまき 草 糸 ○ 紀 篤 瘡 を 河 字 紀 篤 瘡 を 河 字 紀 篤 瘡 を 河 字

あが山 あ 阿 紀 小 豆 ○ 和 阿 曾 布 遊

あが山 あ 阿 紀 小 豆 ○ 和 阿 曾 布 遊

○ 和 阿 曾 布 遊

○ 和 阿 曾 布 遊

○ 和 阿 曾 布 遊

○ 和 阿 曾 布 遊

○ 和 阿 曾 布 遊

○ 和 阿 曾 布 遊

下

見 ① あまひ 古河摩比 如 ○ あまえ 菜

見 ② あふぢ 和河布 扇 ○ あふぢ

和河布右 枳 ○ あふぢ 万安布 仰 ○ あ

ふ里 和河布利 障泥 ○ あふぢ 後撰 逸期

○ あふぢ 和河布右 棟 ○ あふひ 和河布

草 葵 ○ あふぢ 和安布 會具 ○

あふぢ 和河布 近江 ③ あふぢ 和河

江注 鶏雄 距 ④ あえぬ 万安要奴 解木子の

見 ⑤ あさい 万朝宿 朝寝 ○ あさい

古今万・浅茅 ○ あさい 和河散知 魚

⑥ あゆひ 万河由 脚帯 ○ あゆぢ

万年魚市 尾張 ⑦ あしを 和河之乎 鷹具之

⑧ あしを 万河白 網代 ○ あし

あ 字河自 簀 ○ あしを 和河之為 蓋草

⑨ あしを 和河老か 平安 ⑩ あひた 万河

太 間 ○ あひぢ 和河比豆 陸奥 會津 ⑪ あひぢ

和安須波 越前 足羽

巴云

手

ハ あはかふ 万安波 不遠くなるもの ○ あはから

和河波我良 魚 梳齒魚 ○ あはらや 支和亭をいふ 河波良也いふ

○ あはれむ 憐を河の憐をいふ ○ あはれそ

未考 ○ あゝその 字河反 壅 ○ あや

らふ 紀 能を河の今ありと ○ あともひ 万河騰

御軍をいふ 解、誘のいふとありと、の將領に依り、舟とあふふといふ

支河地 波比といふ 味 ○ あぢむ 万安運車良 字、鹹を

○ あぢさゐ 字安治 紫陽花 和安

あゝハ群の ○ あぢまめ 和河加未女 籬上屋 ○ あ

ちまき 多松椰子を ○ ありは 多陸を河

○ あるひ 或 葉材をいふ ○ あをひ

え 和河手 竹刀 子着り、時解の ○ あをや さ

万河表 也疑 青柳 ○ あを乃 和河手乃里 陸

牧厘 ○ あをは 和河手左波 鯖 ○ あを

む 和河手 帽輪 ○ あを 多滄溪

○ あを 和河手 丸 ○ あわ

ほ 和河手 白鹽 海塩の事いふ ○

食塩 食塩 ○

あわゆき 古河 沫雪 (カ) あいら 續河加

明 (○) あいのかみ あつたふんあつたひ 紀 贖を引り禁

(○) あがまふ 業を成 (○) あいのけ 多垢を引

(○) あかばら 和河加夏良 暮熟 防己 (女) あたかふ 紀

奸賊を引りなふ辞々 罪を清くなふ (ウ) あそびひ 万遊を成

(ウ) あひま 和河夏 万屋 四河 (○) あひかふ 字河

加布 傷熱 喝 (○) あひのひ あひまふあひまふ 業完 遣

の義 (○) あひたひ 紀 阿夏 那比 合葬 (○) あひ志

れ 紀 羸弱を引り禁 熱癡の義 (十) あたひ 和河夏々比 遣作

麻柱 (○) あかひ 續 元奈比 正 助

(○) かな 紀 将を引り 字 侮 (三) あらた 万

荒拵 拵 布の古 強くと見 (○) あらそひ あらしそひ あらしそひ

古河夏良 波夏 辛 (○) あらがふ 空 字河夏 我布 律 (○)

あらばる 万河良 波之 顯 (○) あらを 金荒小田の 義

(○) あらかみ 万河良 不在を延びる 南敷 かのの約ぬ (二) あむ

い 和河夏 作路 蘆蔭 (○) あむひ 射を引 今あひち

和河夏 夏知 射染 (ウ) あう 和河夏之知 菓熟

鸚實 (井) あゐ 和河為之流 味々 澱

ヤ あやびり 史 文摺の ○ あやひ 字 阿

不 危 一 あまさ 多 刺を引り 葉之 俗副の義と見え ○ あふ

なふ 多 和を引り うへなふの 〇 あまひら 和 阿 未

豆良 甘薯へ 千歳薬 〇 あふさわ 万 相 依 舎 強 の 和 義

エ あえもの 兼 宵ものともあやふ 〇 あてがふ

あてえんあてえい 盛 宛 養 の 〇 あさごほ 万 檜 字 枯 梗

和 牽 牛 子 どれも 〇 あさぢふ 古 今 浅 草 寺

阿 依 加 保 川 あり 〇 あさひな 和 阿 依 比 天 志 阿 比 志 阿 論 阿 志 阿 驛

秋 秀 〇 あさふじ 和 阿 依 布 豆 越 前 朝 津

キ あさなふ あさなはん あさなひ 字 阿 支 高

〇 あきじひ 和 阿 支 志 比 清 育 〇 あきや

ひ 古 阿 藝 屯 比 紀 噲 噲 又 傾 浮 を 引 り 魚 の む 〇 〇

そあらの人此あまふとあやふとあまふ 〇 あゆがけ 和 阿 由 加 波

相 模 〇 あみいた 和 阿 美 以 多 刑 〇 復 輿

〇 あしらひ あしらえんあしらふ 〇 あし

浅 乃 和 阿 之 豆 乃 芦 之 初 生 〇 あしげ 後 撰 夏 依 抄 〇 〇

やうけいしき皮も 〇 あしづり 万 足 受 〇 〇 〇

〇 あしづり 万 足 受 〇 〇 〇

〇 あしづり 万 足 受 〇 〇 〇

○ あしなへ 字足赤倍 跛 ○ あしたを 和河

ち 履系 ○ あしほ 万あしほこれあはるあはる

ら たはら 未考 ⑤ あひねい 相光 ○ あひねひ

相生 相の相考をうらむおをうらむ ○ あひむさ

和河比す 姉妹す 姪 ○ あひよる 和河比と系

妯娌 ○ あひくち 和河比之知 齧脣

五云

① あいほ 和河伊豆々之 山榴 ② あはせ

あぬ 和の給衣を河波 ○ あはれかひ 史憐養

③ あいほ 和河伊豆々之 臘 ○ あへーら

ふ 源榮、響知の義らふの約る ④ あぢきばふ

万味 味相考、味鴨乃 ○ あぢきなう 竟宴

無道 無味 ⑤ ああがよひ 万安

比 人の従業を蟻の ⑥ あをよひ 万青丹吉

の 梅とけしな ○ あをまげら 万青角鬘

れ あをま ○ あをま 万青

⑦ あわがし 万平騷々をあ

⑧ あ 赤卒 ⑨ あ

下

さゆみ 万安豆佐由 梓弓 ⑨ あかよゝるや 紀阿那

而夷 妍哉 正古事記よりいふあかよるやしるまかれば日事記の元の字助阿久日事記よりいふ古事記のしるま又助阿久正治の

あまのやま ⑬ あらがしえん 万豫を河の梓木 ○ あ

らさわり 多畜を河の荒御 ⑭ あやひづきま 割のやま

後檜垣 のやま ○ あやめがさ 今後箇等 ⑮ あま

はくふ 万兩乍見海祇神 ○ あまはくふ 万天

○ あ万をふね 万海士小船 ○ あ万ぎらひ 松傳

万天霧 解 早の霧をいふ ⑯ あま

相 をいふ ○ あま

のば 万和河万乃 銀河 ○ あ万ね 多周

河の ○ あまがるる 和河未加 蛙黽 ⑰ あぶ

らいひ 和阿布良以比 油飯 ○ あぶみぢり 和

阿布良須日 馬名所 承澄肉 ○ あぶあがさ 多蔭草を

⑱ あさげくよ 万 新月夜 ○ あさかれひ 源

郭餉 餉かのこ ○ あざわらふ 多喰を河の浅く

⑲ あさし 万高自許 解 多疑のこ ○

あまがし 万 秋栢 ⑳ あし 和河之笑

⑳ あじろび 万阿自良 網代人 ○ あ

手

しむなは 和河之乃奈波佐懸門 葦索 ○あし

の 後撰 芦畏の ○あしねるふ 指葦根 延の

く ○あしま流ひ 字万豆比 虫之 轉 ○あ

しなげれ 和河之奈豆奈 亭 歴子

六云

①あーたらばな 和安倍志奈波奈 似袖小者之 櫻 ①あーらるる

後撰 葉之乃ナリニニニ ②あをふながひ 史也 葦

る六月の ③あをふしがさ 紀 蒼紫籬を ④あ

かざれりひ 和河加依乃波比 藜灰 ⑤あながら

はー 紀 侮を河り ⑥あげはらふ 紀 倫を河り

○あけびの流る 和河分比加奈良 葛藪之 通草 ⑦あ

ふさふさる 史ハヤ御抄、とんるも ⑧あふりやう

東押領使を ⑨あふみがばら 和河布良 花

尾 ⑩あさねゆふな 万朝暮を ⑪あしきや

まひ 和 阿之伎 夜万比 癘 ○あしげらかく 和葦原 蟹

甲虫之 鸚鵡 ⑫あひたげひの 紀 芸食者を河り 相宴人より宴を

相伴といふのれり

七云

ハ あはらうるし絲 和河波乃字 畝之祢 梁采 ④ あらぢ

乃よしき 保 赤地綿 ① あまねはたき 古

海士の繩たきり ○ あまねをけい 古天尾羽張又 伊都之尾羽

張 神劔を ○ あまきちね 和河未久勢 祢須員

小籠く 籬籠 ○ あまねき 紀 天吉葛を引 勢くといふなり又

葛をいふなり いるなり

○ あまねき

二二

① さい 和依以 雙六具 采 ○ さい 正 屏 和音 西

奴角八屏の ② さは 万依波 采 ○ さは 和左ハ

澤 ① さ 万二依波打けりの約 障 ○ さ ひえこのかひい

万左傍 副 古依表 ④ さ 古依表 竿、

檣 ⑤ さ 采像のま ⑥ さ 古依韋 注ニ山 由

利草本 ⑦ さ 万左敷 ⑧ さ 寒し ⑨ さ 采 古のまを

清 月のひなをいへり 菅の朗を ○ さ 采 古のまを

くこの

三三

イ さいで

兼 後撰 さあへんのまらふまらふさして又いなる
乃ちいふかかへ又いふのまらふして仰りし

なすいしきしきで願服のかはのまらふ世伝の書りくはにほり力と地の
のけふろこんいふすかかはる指布の破れく何とてさほゆふさ
りさ中眩足なすを物さふさ物さふささいて乃ちもを繩の甲ささひ
くささつひささほをあさささささささささささささささささささ
乃ちさささ今も指のまらふ
引裂のさのまらふ

万 佐波 障

○ さばり 和佐波 月水 上の流
利

さばら

多 鱒を 河さ ○ さばふ 清作法
のまらふ

○ さばひ

和佐波比 駿河 澤食 ○ さばら 和佐波良
筑前

早良 ○ さばと

和佐波古 佐波 難方 ○ さへく 万

佐幣 喧譁 ○ さへ貴

和佐波支 安藝 佐伯 ○ ト ち

とわ 万 里廻

○ さわく 万佐和 騷 ○ カ さこの

え 古 佐 延

兼 ○ さこのひ 紀坂合 境 ○ ○ さ

のひ

ささへんささふ 逆 ○ ささふ ささへんささひ
ささへんささひ

字 佐 巻

誘 ○ さひを 万佐巻字 幸男 ○

さびけ 万 佐 夏

授 ○ さなへ 後拾 字 苗をさ
倍とん

早苗 ○ さらひ

和佐良比 櫂 ○ ささく

詞 草 紙 の

○ ささく 史 俗とささくささくささくささくささくささく
精器ささくささくささくささくささくささく

○ ささく

兼 曹子の 精進の 史

○ ささく

源 唱歌の 掃除の 史

○ さくら下 和依字万 相馬 ⑤ さくら下 万枝

小枝 枝えの ④ さくら下 鳥之古雀を依和波字鶴をた

な波とんいさ ③ さくら下 和依字 榮螺子 ⑥ さくら下

源 細流 命をたす ② さくら下 和依字 椿 ⑦ さくら下

依比流 魚之 ① さくら下 和依字 櫻 ⑧ さくら下

古依受 假殿

巴云

① さくら下 和依字 櫻 ② さくら下 和依字 櫻

なむ 源 字 謙を古支奈年とん 櫻 ③ さくら下

和依以多天 射氣 戲射 ○ さくら下 正 彈丸 葉 彈

和依伊方末 武藏 塙玉 ④ さくら下 和散伊方邊 柀 柀

五月 蠅 ⑤ さくら下 源 爽を河守 早やのて

和 早良を依 波良とんいさ ⑥ さくら下 源 爽を河守 早やのて

○ さくら下 万障 良 障を返 ⑦ さくら下

和依波夜分 黄葉 ⑧ さくら下 多 遮を河守 柀

菜 菜 ⑨ さくら下 幸を河守 柀

○ さくら下 幸を河守 柀

○ さくら下 幸を河守 柀

依 笛 後 嘯 ④ さをくしの 和 依 宇 牡 鹿 〇

さやふね 万 左 小 さハ 發 汗 〇 さをひん

古 棹 姫 ますを 肩 神 〇 さやぶる 史 〇

躍 〇 さわがし 〇 さわやう

兼 騷 の 精 ① けの げ 貴 和 依 加 加 支 〇 益 〇

けかいき 著 逆 息 の 著 〇 さらほひ 源

兼 膝 行 匍 匐 〇 さうそく 〇 さうや

兼 掃 後 の 著 〇 さうそく 後 拾 華 送 の

〇 さうそく 源 装 束 の 著 〇 さうそく

〇 さうえい 盛 造 管 の 〇 さうく 〇 さうてう

〇 さうたけ 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

伊 部 上 野 雀 部 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

〇 さうま 〇 さうま 〇 さうてう

下

万依告 幸 さちまふ ③ さふびる ちま

小見出の さく ④ さくあふ 兼 差合の ⑤ さくば

万指進 考之墨斗 ⑥ さくそく 大 差延の

⑦ さひびる 万依比豆流 和依因如流 ⑧ さひびる 和依

⑨ さくらひ さくらん さくらん 延 依須 稔 征 字 程

侍 ⑩ さくらひ さくらん さくらん 延 依須 稔 征 字 程

を依須良戸 阿留之と河の

⑪ さいのち 兼 前頂 ⑫ さいたり 花 撰

⑬ さいたり 花 撰 ⑭ さいたり 花 撰

⑮ さいたり 花 撰 ⑯ さいたり 花 撰

⑰ さいたり 花 撰 ⑱ さいたり 花 撰

⑲ さいたり 花 撰 ⑳ さいたり 花 撰

⑳ さいたり 花 撰 ㉑ さいたり 花 撰

㉒ さいたり 花 撰 ㉓ さいたり 花 撰

㉔ さいたり 花 撰 ㉕ さいたり 花 撰

㉖ さいたり 花 撰 ㉗ さいたり 花 撰

㉘ さいたり 花 撰 ㉙ さいたり 花 撰

㉚ さいたり 花 撰 ㉛ さいたり 花 撰

㉜ さいたり 花 撰 ㉝ さいたり 花 撰

手

幸賀の
おく

① さくらぞめく

兼装束めくのおくさき
さくらぞめく

さくらぞめく
さくらぞめく

② さくらぞめく

万櫻麻乃
考の櫻ハ
此より

③ さくらぞめく
和依々れ
以之

細石
字の硝を依々
良石と云

④ さくらぞめく
万依々良
手疑

考の少キと云
さくらぞめく

⑤ さくらぞめく
多接を引
其交のさき

⑥ さひのさ
万檜隈
奈河と云

⑦ さひのさ
○ さひでのお

字沙比
令 鞠

⑧ さくらぞめく

⑨ さくらぞめく
源瀬々
のさき

⑩ さばあらくよ
和

依波阿
良々波

澤蘭

⑪ さやばさざり

和依夜
土里

騮驎

⑫ さくらぞめく

⑬ さねおどけ
旧左給古角乃
給古角

⑭ さねおどけ
さき奈河
掘のさき

⑮ さくらぞめく
万左依良
壯子

⑯ さくらぞめく
月をい
さき

⑰ さくらぞめく

⑱ さくらぞめく

⑲ さくらぞめく
和

⑳ さくらぞめく
圓く紀伊

㉑ さくらぞめく
万伎波
際

㉒ さくらぞめく

下

① 万考延消 ② 万考延消 ③ 万考延消 ④ 万考延消

⑤ 万考延消 ⑥ 万考延消 ⑦ 万考延消 ⑧ 万考延消

⑨ 万考延消 ⑩ 万考延消

⑪ 万考延消 ⑫ 万考延消 ⑬ 万考延消 ⑭ 万考延消

⑮ 万考延消 ⑯ 万考延消 ⑰ 万考延消 ⑱ 万考延消

⑲ 万考延消 ⑳ 万考延消 ㉑ 万考延消 ㉒ 万考延消

㉓ 万考延消 ㉔ 万考延消 ㉕ 万考延消 ㉖ 万考延消

㉗ 万考延消 ㉘ 万考延消 ㉙ 万考延消 ㉚ 万考延消

㉛ 万考延消 ㉜ 万考延消 ㉝ 万考延消 ㉞ 万考延消

㉟ 万考延消 ㊱ 万考延消 ㊲ 万考延消 ㊳ 万考延消

㊴ 万考延消 ㊵ 万考延消 ㊶ 万考延消 ㊷ 万考延消

㊸ 万考延消 ㊹ 万考延消 ㊺ 万考延消 ㊻ 万考延消

㊼ 万考延消 ㊽ 万考延消 ㊾ 万考延消 ㊿ 万考延消

① 万考延消 ② 万考延消 ③ 万考延消 ④ 万考延消

⑤ 万考延消 ⑥ 万考延消 ⑦ 万考延消 ⑧ 万考延消

⑨ 万考延消 ⑩ 万考延消 ⑪ 万考延消 ⑫ 万考延消

⑬ 万考延消 ⑭ 万考延消 ⑮ 万考延消 ⑯ 万考延消

⑰ 万考延消 ⑱ 万考延消 ⑲ 万考延消 ⑳ 万考延消

㉑ 万考延消 ㉒ 万考延消 ㉓ 万考延消 ㉔ 万考延消

㉕ 万考延消 ㉖ 万考延消 ㉗ 万考延消 ㉘ 万考延消

㉙ 万考延消 ㉚ 万考延消 ㉛ 万考延消 ㉜ 万考延消

㉝ 万考延消 ㉞ 万考延消 ㉟ 万考延消 ㊱ 万考延消

手

三平五

① 夷わづひ 字支利 枉 ス 夷ぬ きぬ

和彼奴 以 破 ウ 夷うでん 多 官殿の ○ 夷う

めい 盛 弘明の ④ 夷やうふ 多 鷲怖の ○

夷やうふ 多 刑部の ○ 夷いらひ 多

⑤ 夷えむげ 和 支志 多 波胡黎

結吟少西

又云

③ 夷よまばり 延 洋 麻波 ⑥ 夷たひが 祿 字

⑦ 夷たひもろ 多 脂 鳥脂乾 ⑧

夷そひがり 万 競 稀 ⑨ 夷やうが 兼 行 幸

⑩ 夷やうた 盛 饗 應 の ○ 夷やうだん

⑪ 夷あー 万 阿 食 阿 し めん

⑫ 夷もむ 万 肝 向

又云

⑬ 夷そひが 字 支 曾 比 ○ 夷みろ

⑭ 夷 字 公 弥 乃 石 葦

又云

⑮ 夷れ 字 乃 乃 夷 和 木 乃 字 乃 乃 半 天河

手

三六

ゆ乃部

二云

㊦ ゆひ 字、燹を奈由豆 湯煮 俗ゆひ

㊧ ゆふ 万由布 夕 ㊨ ゆふ 古

由惠 故 ㊩ ゆひ 和由比 牧馬遊牝 遊牝 ㊪ ゆひ

ゆへんゆふ 万由比 結 ㊫ ゆひ 兼備を引り 葉田

ゆへんゆふ 万由比 結 ㊬ ゆひ 兼備を引り 葉田

三云

㊭ ゆはび 万弓波受 弭 ㊮ ゆよは 紀踰貳齋

度 ㊯ ゆひの 万弓朱 附 ㊰ ゆはり 仏是る

利 ㊱ 讓 ㊲ ゆひ 兼 ㊳ ゆらへ 盛

後 手綱なをいしす ㊴ ゆへん 千 万 紘方を

けひ 和由分比 倭前 鞞負 ㊵ ゆふへ 万由布

ふ 兼 和由不彼 下總 結城 ㊶ ゆえを 万 弓雄

ゆび志 万弓上を引り 弓朱の義

一云

㊷ ゆほひの 源 兼寛又竊竊を ㊸ ゆひろふ 字

由夏 銷消 ○ ゆけるは 万由夏流 交懐木 ○

呂布 乃あわ 和由乃阿 硫黄 ② ゆまげり 交由麻 波利

齋 ③ ゆふげ 和由布 夏々 太白星 ○ ゆふむ

え 丈 夕映 映はのニ云 ○ ゆふさり 字由布依 利

晡 ○ ゆふかほ 源 夕顔 顔かのニ云 ○ ゆふは

な 万本綿花を ④ ゆふして 令 本綿 約て

⑤ ゆさばり 和由依 波利 鞆鞆 ⑥ ゆまかひ 万社

を引りゆきかふ ⑦ ゆみい系 和由員 以 射 ○ ゆこ

ゆる 和由員 如 弦

又云

⑧ ゆかばあみ 紀沐浴又淨沐 湯肌洗の ⑨ ゆう貴

あう ⑩ ゆふざれば 古由布依 礼婆 文 ○ ゆふげりひ

万文附 ⑪ 文 暈 ○ ゆふげりよ 万由布夏 夕月夜の

○ ゆふてくら 丈本綿幣の ⑫ ゆふたけ貴 万

本綿手 本綿袴 ⑬ ゆふたけみ 万本綿膝 考之本

次 ⑭ ゆふげりふ 万文 衝台同 葉々今之辻占

畳々 ⑮ ゆふげりふ 万文 衝台同 葉々今之辻占

六云

① ヨ じいばむら 古湯津 紀五箇石村とよほの約よかうと
石村 ヨコ村らけのくはるり石村を

石村の約よかうと
詳く万もえり
② ヨ じいげむら 古今 本綿附鶏の
蓄く

ヨ じいしし 兼故々敷の
蓄く

七云

③ ヨ じいしし 紀湯津 櫛の齒のまをいしし
凡櫛 ヨコ村のヨコし

④ ヨ じいしし 紀由美比乃 近衛府各湯府衛門府を
夏加佐 さら 鞆屋の約よか

め乃初

二云

⑤ 中 めを 雌雄 和雄を乎出里 雌を未止利と見 ⑥ 中 めひ 字女比 和

婿、姪

三云

⑦ 文 めたう 兼正馬道ハ豊向 ⑧ 文 めけふ 紀梅屋 留

感、愛 ○ ⑨ 文 めけふ 万愛子を ⑩ 文 めけら 史

万こしんゆ 感愛の清く ⑪ 文 めなう 兼瑪瑙の 蓄く

和之叢荷を兼かきん今 ⑫ 文 め志ひ 字同志 比 盲

比云

⑬ 文 めほし 兼和兼波之支 ⑭ 文 めふげん

後撰 月定の 習く ④ 女乃ら 万 紀梅屋羅志 希見

① 女乃松 和采乃松刀又采乃刀 又知於毛 乳母 ② 女乃

波 和采阿波 須 妻

又云

① 女乃た 多 鱈を 河 ② 女乃ま 多 ぶら

多 胸を 河 字、暹 を 万志居久と云々

又云

① 女乃 河 わら 紀 女孺を

又云

① 女 和 女 流 女 之 眩 夜万比

女乃

二云

① 女 和 女 倍 ② 女 伊 ③ 女 万 女 手 水脈

④ 女 和 女 和 神酒 和 記 神 酒 和 語 云 女 和 と 見 籠 より 知 る 處 也

女 万 女 和 ⑤ 女 古 女 如 稚 ○

女 古 女 夏 水 ○ 女 紀 女 弥 圖 瑞

⑥ 女 古 女 延 所見

三三三

② みるゝ 紀御膳を河守御贄の誓之贄にの二云おせり ④ みるゝ

紀進食を河守御食の誓之 ③ みるゝは 和兵加波 参河

⑤ みるゝ 仏足石の 弥福知未利 三十 未利のあまり 略河なり ⑥ みるゝ

⑦ みるゝ 万水枝 稚枝の ⑧ みるゝら 古兵豆 羅 髪 和

屈髪之 ⑨ みるゝは 紀兵加波 ⑩ みるゝ 同象 ⑪ みるゝ

ち 和兵豆 ⑫ みるゝ 和兵豆 ⑬ みるゝ 和兵豆 ⑭ みるゝ

⑮ みるゝ 禁御厨子を ⑯ みるゝ 和兵豆 ⑰ みるゝ 和兵豆

⑱ みるゝ 和兵豆 ⑲ みるゝ 和兵豆 ⑳ みるゝ 和兵豆

万水城 解之筑紫にて大境を築く ⑳ みるゝ 万水河

① みるゝ 和兵豆 ② みるゝ 和兵豆

③ みるゝ 和兵豆 ④ みるゝ 和兵豆

⑤ みるゝ 和兵豆 ⑥ みるゝ 和兵豆

⑦ みるゝ 和兵豆 ⑧ みるゝ 和兵豆

⑨ みるゝ 和兵豆 ⑩ みるゝ 和兵豆

⑪ みるゝ 和兵豆 ⑫ みるゝ 和兵豆

⑬ みるゝ 和兵豆 ⑭ みるゝ 和兵豆

⑮ みるゝ 和兵豆 ⑯ みるゝ 和兵豆

⑰ みるゝ 和兵豆 ⑱ みるゝ 和兵豆

④ みちかひ 源河海抄の道往々

紀深箇始報考之三日此源又一説の甕地なつたれもよしかたなり
と云ふ事あるは抄にみちかひをひく高堅地の略記

○ みかひは 後撰見
高麗とて一例なりしかかゝるなり

○ みのりみ 和名加勢
倭前 壱調 ⑤ みけ

貴 万水並流、常をいつり 又みちいなり ⑥ みけのら 續身如自
可良

○ みけやう 万英豆 稚々敷山 ⑦ みけがき 和
名

英豆加破 神社にあり 瑞籬 ⑧ みけのき 和名豆加支
鳥雁足指向在 蹠

○ みけうき 和名豆加支 大地に ⑨ みけの糸 和
名

英豆 加流 水銀 ⑩ みけのき 盛菜類
いし

乃え 土 ⑪ みけ乃水 葵 和名豆
のき

⑫ みなぎけ 万英豆 倭波 水際 ⑬ みれけ 和名
豆

和 年魚背腸 ⑭ み乃き 和名乃 三懸

⑮ みやひを 風流土を ⑯ みやけ 史官造乃
和名

○ みやうふ 源 命婦を河に 叙爵の友女を内命婦と云ふ
又五位以上の妻を外命婦と云ふ

⑰ みあはは 紀念交又婚を河に ⑱ みくしひ 字
所合の義に

耳志 聾 ⑲ みけうき 和名豆加支 鳥に 木鬼

⑳ みじこの貴 万英自 類 ㉑ みじろき

源 身退りその 約る

又云

④ みち乃朽々 和名乃於之 陸奥 ⑤ みを

⑥ みち乃朽々 万有字如之志 水脈載之 ⑦ みわら

⑧ みそなげ 水田小管 ⑨ みこのけ 古今御溝水

⑩ みそなげ 古今 ⑪ みづ 令具後 ⑫ みづく

⑬ 漉水 和名豆波 ⑭ みづふる 和名

⑮ みづ 後撰先人を瑞齒之む ⑯ みづ

⑰ みづ 字水不々支 ⑱ みかのれ 字

水馴棹の 萬水霧相 ⑲ みれ 漲を逆

⑳ みかの乃 萬有字乃 ㉑ 和名 和名

㉒ みか 紀水 ㉓ み 水 ㉔ み 下 ㉕ み 経 ㉖ み の ㉗ み の

㉘ み や ㉙ み や ㉚ み や ㉛ み や

㉜ み や ㉝ み や ㉞ み や ㉟ み や

㊱ み や ㊲ み や ㊳ み や ㊴ み や

㊵ み や ㊶ み や ㊷ み や ㊸ み や

㊹ み や ㊺ み や ㊻ み や ㊼ み や

手

下

着三諸ハ假字ニ御室
の多ク神社をいなり

薦混薦ニノ葉ニ高薦の葉ニ葉を
いなりしとありあきと考へ後つし

六三

① みとあはけし 古兵刀阿多 婦の古 ④ みち

ゆまじや 万道去畏 家畏なり ⑤ みかともあり

紀朝参を ⑥ みだりかはし 源多之漫又濫を河

⑦ みじとるたろ 和兵夏止留 水精

⑧ みじのふはみ 紀徒罪を 所遣罪 ⑨ みじほ

乃くふ 万水穂國 瑞穂國 ⑩ みしる乃いぬ和

兵之居乃 以稱 稿白米 稔

⑪ 七三

⑫ みとあまがはひ 古兵斗能麻 ⑬ 合

たらしを乃う万 和兵多良字乃字万 ⑭ 馬

みじ乃くあらこの 旧兵夏乃兵 瑞殿 ⑮ み

乃のぬ乃か 和兵夏加祢 乃加須 貢粉

ハ三 ⑯ みじのぬ乃けあり 和兵夏加祢 乃分布利 鎮粉

九三 ⑰ みざれとやげのき 和兵彼乃兵依 止夏加依 右京職

十一三 ⑱ みじ乃えれうら志乃のよ 万水江之浦 島見

手

十巴云 ○ 久古乃之や乃がはでれはのさ 和 英方乃

加之波天乃 夏加佑 主膳監

志乃初

二云

④ 一ほ 古志保 鹽 ○ 一ほ 万思保 潮、

⑤ 一ち 和之知 榎 ○ 一わ 和之和 鼓

⑥ 一よ 保自録の ⑦ 一び 下枝なるふ老河の

⑧ 一志 万四 時

⑨ 一ひ 古志此 榎 ○ 一ひ 万志斐 強

○ 一ひ 景慈悲の 善之

三云

⑩ 一ろを 和之屋平 鮎 ○ 一ばふ 史芝生の

○ 一はう 今情を別り岩しるまゝ ⑪ 一はせ 和

之波止 磯伯 ○ 一はは 十二月 ⑫ 志

はう 右四方の ⑬ 一ほふ 伊志字本之塩流と見染之塩

○ 一ほ 万志保 解之今志ほくと

志ほで 和之保天 鞞 ○ 一ほぢ 史板保持 志字

下

リ 志あり 紀志理 後尻方の ○ 志あり 志尻

居 ④ 志あり 新古 標折の ○ 志あり

菅芝折れ 者 萎 ○ 志あり 和能之俗 之字迹 紫花元

① 志あり 文為業の ② 志あり 紫之頭眼之草 志あり 志あり

比 慕 ○ 志あり 和之右記 播壁之 助枝 ○ 志あり

志あり 和之右手又毛刀 箭支 ③ 志あり 古志豆

下枝 ○ 志あり 万四頭 滴 ④ 志あり 万斯

朱鎮 ○ 志あり 紀周静を河川の字の點々 志あり 志あり

之頭久 沉 ○ 志あり 志あり 志あり

○ 志あり 盛志あり 沉 ○ 志あり 後洋輪

○ 志あり 和七夏本 後月 ○ 志あり

和之志素 志筑 ⑤ 志あり 万之志 紫之ハ登流

○ 志あり 志あり 竟宴哥 所 症

⑥ 志あり 和之字刀 舅 ⑦ 志あり 志あり

⑧ 志あり 志あり 鬼弦 ⑨ 志あり

万四具 宜長之志あり ⑩ 志あり 字志已 潜

⑪ 志あり 和志佐波 播 ⑫ 志あり 志あり 紀席

手

川の敷居
のふく

③ しふじ 和之良
清水 ④ 志づ

ふ 和之自弥 観 ○ しむむ 考くまゝ
いふり

ま 源 棲違 河いふり
⑤ しふや 万四惠也 縦表夜思
の略演こ

いふり
⑥ しひき 續之非 強 ○ しひね 和之
比

禰 瘤

比ふ

⑦ しろたへ 古新漏 白布 白栴
多用 白妙 河白 ⑧ しはふれ

万之波 丈礼 ○ しはふ貴 字之波 石支 歎嗽
源 踏 株 考

⑨ しほたれ 倭 天を塩 岳と見 ○ しほきや 源 踏 株 考

○ しほあひ 新古 潮向の 義之 ○ しほきや 伊 踏 尻 天野 信景 作
云海民 踏 考

燧 序辺砂を聚て堆をなす 畦を會ひ海ありて砂畦を混す 新古の砂畦を
混す 砂を後砂を積て山やうを化り日之曬以形 瓜是也 志保之里といふ
字之字 志乃形之 似りき

○ しはさる 万潮 依 踏 驢 考 約ぬ

○ しちやう 兼 仕丁の 考 ○ しあへで 紀 後 平 考
河

○ しよらう 保 所 考 の ⑩ したのひ 考

○ 續 順 比 後 ○ したばへ 万之多 妻向を比
婆倍 いふり

○ しころひ 後 撰 襪 和之襪を之多 頭をえりか
ふもき 考

○ しじばえ 拾下映の ツ しじり 万倭文

倭文機の ○ しじねり 紀倭文織之しじり

○ しじけし 万之頭亮師 静 字之點之又情或ハ

○ しじくら 万志お 後鞍 ○ しじうた 古志

哥静歌の ○ しじけ 万静管 下管の ○ 志

ひぬき 万倭文 解之文有布といふハ夢えかきし 幣 ○ しじ

らひ 位為化 三 しらげら 和之良 聖 ○ し

らゆ 万 白木綿 ○ 志らうし 和師方 紙老嶋

正今いふは乃乃のやま 二 しむ 係親王の

ウ 志らま 盛蹴鞠の ○ し 和之字

夫の姑 ○ 志らい 多秀逸の ○ 志ら 和之字

多秋その ○ 志乃げ 和之乃 條束 ○ 志や

うじ 景障子の ○ 志やうぶ 多菖蒲の ○ 志や

うび 景三平の ○ 志やうえ 景陣衣の ケ し

けい 和之介 結絲 ○ 志ぶ 拾志ふくを契り

キ し 和之伎 馬極 ○ 志あ 万之伎

敷枳 ○ 志めゆふ 万標結 志いかむ 清編

今ちむ 手 ○ 志い 字志自万 幡 ○

下

志づまひ 万棲遑を河り又紀之 繁露の 〇 志づ

くべ 字志自 檀 〇 志づまひ 和之々和波 肥膚之肉之

腠 〇 志づまひ 和之比奈世 有皮而無糸之 靴

又云

〇 志づまひ 万之波 加比 歎嗽を延 〇 志づまひ

及臙を河り 穰之 〇 志づまひ 和之波由波里 病之

淋病 〇 志づまひ 万忍経 〇 志づまひ

ようでん 保昇殿の 〇 志づまひ 倭文手纏

〇 志づまひ 大徳心の 〇 志づまひ 古志那陀 松由布

志づまひ 万向香 考之白髪着 〇 志づまひ

生年の 〇 志づまひ 万敷藻相 〇 志づまひ

めゆひ 支盤目結の 〇 志づまひ 万敷藻相

考之藻ハ倭字之 敷檀之 〇 志づまひ 万十六自物 鹿野自物

〇 志づまひ 紀交自非 考之盤剣之 〇 志づまひ

和之々比之保 肉留之 〇 志づまひ 合 穰之藻本結の

六云

〇 志づまひ 紀潮之ハ 百重 〇 志づまひ 古

手 四十九

尻之糸 淫連繩の 下
古々々々
○ 志乃 兼無相の
言々

○ 志乃 万之津卒乃下男部
の言々 ○ 志乃

あけゆ貴 夫葉之靜下雷の言々
水端より為る言々
○ 志乃

葉清淨の 伊袖中抄之襦の田長
言々 又田言々

田葉言々
○ 志乃 源令編凝の
言々

七三

○ 志乃 白横乃木綿言々
言々 ○ 志乃

ほけ乃 紀塩土乃老翁
言々 ○ 志乃

中ひ 和之可以夏流
夜万比 脱衣 ○ 志乃
言々

倭文乃 葉之倭文布を織ん科の卷ふ
言々 ○ 志乃
言々

ぬき 伎篠の小降吹の略知木草此風は觸る言々
樂塵更按お、秋風の言々 ○ 志乃
言々

○ 志乃 和之乃言々
波毛乃 尾言々

○ 志乃 常寧殿
禁中殿名々 ○ 志乃

もん 冬上東門
禁門之 ○ 志乃
言々

久比 乃木 藜木 蘆

志乃部

餌 和之以食誘鳥魚之

衛會 何何
言々

二三

手 三

下

ト 乞乞 續古 餅飲の ① 乞乞 仙豆の 彫穿

又 乞乞 古菓奴 飢 ② 乞乞 和菓曾 能宅 越蘊 ③

乞乞 万菓具 顯服説 乞乞 今東國 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 万菓考 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞 乞乞

手 五十一

味之 醖 ○ 之 之 系 某之鑄轉の ○ 之 之 係

和 之 久 係 人笑時頰見之 曆 ○ 之 之 之 和 之 久 利 殖 粟

栗皮圻 罽 罽 發 比 之 之 之 比 万 之 麻 咲 之 延 之 之 之 和 之 久 利 殖 粟

栗皮圻 罽 罽 發 比 之 之 之 比 万 之 麻 咲 之 延 之 之 之 和 之 久 利 殖 粟

栗皮圻 罽 罽 發 比 之 之 之 比 万 之 麻 咲 之 延 之 之 之 和 之 久 利 殖 粟

栗皮圻 罽 罽 發 比 之 之 之 比 万 之 麻 咲 之 延 之 之 之 和 之 久 利 殖 粟

栗皮圻 罽 罽 發 比 之 之 之 比 万 之 麻 咲 之 延 之 之 之 和 之 久 利 殖 粟

栗皮圻 罽 罽 發 比 之 之 之 比 万 之 麻 咲 之 延 之 之 之 和 之 久 利 殖 粟

ひ乃部

二云

ハ ひ け 和 微 波 琵琶 ○ び け 兼 字 比 波 乃

杷 子 ひ ぢ 和 比 知 臂 ○ ひ ぢ 紀 堡 土 之 土

○ ひ ぢ 万 渥 積 之 比 夏 知 濕 ㊦ ひ を 字 比 乎 小 魚 之

鰻、氷魚 ㊦ ひ け 和 比 夏 年 魚 氷 頭 ㊦ ひ え 拾

と 返、寒 ○ ひ え 和 比 衣 裨 ○ ひ え 古

日 枝 比 敵 ㊦ ひ え 古 被 之 今 へ ぐ と ち と ち へ び え 之 の 約 法 之 比 之 の 約 へ

三云

① ひいびり 多 秀 葉、穂出るの ② ひろふ ひろ

ひろひ ひろへるも 續後拾布 とる ③ ひとく 和比刀用 ④ ひろふ ひろ

○ ひとく 一重 ⑤ ひちぎ 和比知後 ⑥ ひたひ 和比 杵

⑦ ひのへ 平系 ⑧ ひたひ 和比 額

⑨ ひたひ 和比 額 ○ ひたひ 和比

比太 比太 蔽髪 ⑩ ひざら 和比 額 ○ ひ 和比

ひざら 和比 羊 ○ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

○ ひげ 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

① ひのえ 火のえ ② ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

○ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

③ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

④ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

⑤ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

⑥ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

⑦ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

⑧ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

⑨ ひた 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄 ○ ひら 和比 蹄

ト ひも〜ほゑ 一入

此八塩折ハ也志保伊利乃伊を宇ニ通
折之今一入と其畧と云ふなりといふハ非也八塩折ハ也志保伊利
と折てふを言て折てふは折てふのハ殊と云ふは此の如く万々其藍之八塩乃衣
と折てふを言て折てふは折てふのハ殊と云ふは此の如く万々其藍之八塩乃衣
ていふと云ふも折てふの事と云ふ伊字を言ふなり中右の事と云ふは折てふ
入の事と云ふも折てふの事と云ふ伊字を言ふなり中右の事と云ふは折てふ
替てふ事と云ふは折てふの事と云ふ伊字を言ふなり中右の事と云ふは折てふ
一重との事と云ふは折てふの事と云ふ伊字を言ふなり中右の事と云ふは折てふ

一重との事と云ふは折てふの事と云ふ伊字を言ふなり中右の事と云ふは折てふ
替てふ事と云ふは折てふの事と云ふ伊字を言ふなり中右の事と云ふは折てふ
入の事と云ふも折てふの事と云ふ伊字を言ふなり中右の事と云ふは折てふ

中まき 和比知 万俊 釧 ○ ひぢがさ 和比知利右 土和木 泥 ○ ひぢ

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

中 ひをむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
をむし 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人
やの 和比宇多 虫之 甥 □ ひわやの 兼 人

ト ひとたまり 和比力た万比 副車 ○ ひととぎぬ

和比止用 單衣 テ ひぢかびら 字比地加 眞

ル ひるがふ 翻を引りむる日中 伊 今 古字本射禮日と見え又引折日の時とも或ハ

をり乃ひ 標増しむるれと標をひよむ 文 ひたひがみ 騎を引り額髪 ツ ひほぐ

さ 和比支之 白鮮 コ ひおぼらひ 万引支 引連

く 久依 サ ひごるげ 兼跪を引り膝曲突の ○ ひ

さ 久依 びげら 兼狂を引り キ ひさあせ 兼棗檀紙

え ○ ひさし 今引摺を延 ヨ ひめ

免 和比加今加良 六云 和比依乃 炒糞

木 ひほし 和比係之乃 以字 痺

まひ 和比苗守夜来比 カ ひかけかびら

和比加今加良 和比依乃加 羅曼 サ ひご乃かばら

和比加今加良 和比師古以 膝骨 鯉魚

ハ云

サ ひご乃み乃あ 和比依加良乃阿波 骨

ひさ乃む 和比支乃比 細辛

手 也 五十五

と乃知

二云

⑦ もぢ 和毛屋 ⑧ もえ 續毛延 萌 木草

○ もえ 後様 和燼を毛延 燃 文文字の

⑨ もひ 和毛比 ⑩ もひ 僅員毛比とえ水の

和毛 受 鷓 ⑪ もひ 主水月を毛比刀里乃屋か依毛もひと向皆毛を盛器をもて

和毛 鷓

⑫ もひ 字毛保巳 草 草

⑬ もちひ 和毛知 ⑭ もとゐ 基

⑮ もちわ 今ニもぢりはぢりとは名字ニ和毛知

⑯ もち 清帽額の毛使

⑰ もたひ 和毛太比

⑱ もたひ 瓦器

⑲ もたひ 和毛屋

⑳ もたひ 海菜

毛屋女 物集 ① もらふ からんもらひ 字、胡を毛良

② もくじ 史藤屑より又水屑より 比波先と見

③ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

④ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑤ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑥ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑦ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑧ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑨ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑩ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑪ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑫ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑬ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑭ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑮ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑯ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑰ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑱ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑳ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

山城 物集 ① もらふ からんもらひ 字、胡を毛良

② もくじ 史藤屑より又水屑より 比波先と見

③ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

④ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑤ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑥ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑦ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑧ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑨ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑩ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑪ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑫ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑬ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑭ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑮ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑯ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑰ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑱ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

⑳ もくじ 史藤屑より又水屑より 史萌黄の玉

ハ せばし

正の約をせしむると見
こぼししとけ

④ せちえ 公前舎
のまへ

カ せかへ

万塞敢解の續日本後紀の堰加倍留天
しほしほしとるす

ツ せじの

和世如笑
俗世英孫

脊梁

⑤ せうや

伊見人の
まへ

○ せうよ

著小見の
まへ

○ せうふ

多焦史の
まへ

① せねふ

多脊負を
けり

② せくじ

字世久豆
背痛を 降背

にえ

③ せしちや

康富記勢多折江鳥帽子
たかりまゝとるえり

⑥ せうそ

⑦ せう息の

○ せうえり

古今道遠の
まへ

○ せ

⑧ せう

兼焼七の
まへ

⑨ せちや

源湖月抄軟障
流の衝立障子や

のそのそたうくせまや
しほしほしとるす

にえ

⑩ せう志や

兼少将の
まへ

○ せう乃ふえ

和世乃
布衣

簫

にえ

○ せのひ乃ふ

史棟圍の水の
まへ

に乃部

にえ

⑤ すざふ 丈枚生の ⑥ すびし 万須度涼

○ すびろ 源 古ニ伊須々彼とえいハ筆流すろよの略也
ろとも 遊仙屋 漫を引り 老不又又坐をも引り ○

すづめ 和須々 雀 ○ すづな 拾芥抄 菁を引り 小菁
の糖れるの

○ すづり 兼 硯を引り 墨摺
の略也

鱸 ○ すづの 和須々加 乾鹿
伊勢

尺三

① すいご貴 丈透籬のきく
いさかへんも便なり

須波 魚條 本朝式と楚割
夜利 ともなるぬほし

② すさまのじ 狭荒涼を
清引り

ばひ 及 ちを引り ちひハ辞
業をなすのちひハ辞

③ すみなは 和須々 繩墨 ④ すゑの 和須
京波

乃 陶 ○ すゑなり 鴨 未生の
ち

須々 歡を延 ⑤ すびし 和須々 鬢 ○ す
比 いなり

みち 字 須々 菟 ○ すづね 丈 驛 乾か
強 京

五三

⑦ すまひがき 字 須 万比 旋襪花 ⑧ すひの 山
久依

和須々可 怒々 ⑨ すゑの 和須々 雀 鷄
夏良

六三

⑤ すゝの法むけな

源万々未摘名
江花々々々々

⑥ すゝいゝあそ

⑦ 万酒師

解二進競と
いふゆ

七云

○ すゝめれらら

万須蘊乃字
初可倍
齋打遠
のゝ

八云

○ すゝないゝのまろ

和須奈伊毛乃
万字之

少納言

手木杖下換

跋

押苗

空國と學以言語為主以文字
為奴主費亦奴賤固矣然之語
必待文字行世於主人必待奴隸
辨事其亦可思哉夫奴隸之職不
一者主管者僅仗者汲炊之夫耳
操刀拿手檢ぬを難抱るを平に執
其役以供之宗事不乃在為亂
為職役不均駭使不為自

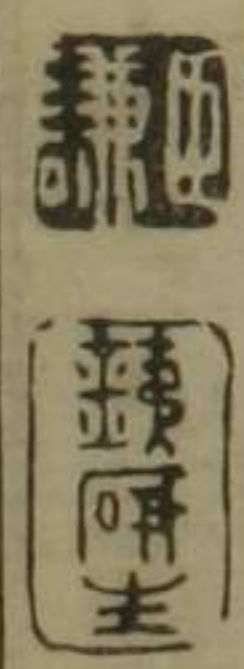
手

家之事一不得辨也。多字。於此語
亦然。於越相訛。先盡其誤。得為伊
飛。其錯亂及法。通延約用。言不南
見其意不通。其義不。明矣。是以國
學者流。必先研。罕假不自。念其
門。何不遣。至。辨。反。魚。考。去。之。杖
世。多有。其。上。於。不。能。無。遺。漏。訛。誤
系。之。漢。古。田。長。與。惠。之。博。微。而。精
而。教。之。勿。於。國。史。武。令。至。中。世。相。持。

字紙及情士刻。魚。字。不。致。索。尋
究。有。勅。乃。一。之。名。曰。平。未。杖。是。通
詞。也。學。者。忘。文。執。此。絕。使。之。乃
能。文。於。字。從。名。趨。其。殘。年。錯。綜
之。惠。利。此。杖。謂。之。文。中。瑞。牙
七。何。不。可。也。

嘉永己酉春王正月

錢研字人空存通



富士通舎藏版

天保二己酉年發行

製本所

江戸 和泉屋吉三坊
津 本屋依三坊

書肆

同	ナ イ 津	同	同	同	同	同	同	同	同
本	雲	井	河	藤	和	山	山	山	山
依	和	筒	内	藤	泉	城	城	城	城
三	伊	文	茂	知	吉	依	依	依	依
坊	十	助	玄	三	三	三	三	三	三
坊	郎		坊	坊	坊	坊	坊	坊	坊

